

◎ 令和6年度学校評価アンケート集計結果より

<成果>

- ・「学校に楽しく通っている」を始め、児童アンケートでは、全ての項目で、9割以上の高い評価でした。保護者の方が学校の活動に協力的である事、地域のボランティアが登校の見守りに携わっていただいたりすることで、教育活動が充実していると感じます。子供たちの活動の充実のために、職員も研修を重ね指導を継続していきます。
- ・「人に思いやりをもって接したり、人が困っているときに助けたりしている」が、保護者・児童ともに9割超えの高い評価でした。教職員アンケートにおいても、同様の結果でした。また、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」は、児童アンケートの中で一番高い数値となっており、学校経営目標「温かい学校風土の醸成」が、日々の学校生活を通して、学校、保護者、地域の力で子供たちに定着しつつあることが分かりました。
- ・「善悪の区別や公共のマナーを考えた生活をする事ができている（よいこと・悪いことを考えて行動したり、まわりの人のことを考えて生活したりしている）」の項目では、児童・保護者ともに高くなっています。学校における指導を継続するとともに、保護者や地域の方の声掛けによって児童の意識が高まっていることを感じました。今後も地域や家庭と連携し、子供たちが安全な学校生活を送ることができるよう、指導を充実させていきます。

<課題>

- ・保護者アンケートでは「学校は、いじめに対して、迅速かつ丁寧に対応している」の項目で、評価が低い結果となりました。いじめを防ぐ集団づくりやいじめが起きた際の初期対応について、一層丁寧に進めてまいります。また、この項目では「よくわからない」と回答した保護者が他の項目に比べて非常に高く、学校としていじめ対策を充実させるとともに、学校としての取組や対応について保護者の皆様により分かりやすく周知・説明していく必要を感じました。
- ・「運動や健康づくりに取り組んでいる」の項目について、保護者・教員ともやや低い評価が出ました。体育の授業での取り組みや休み時間の遊び方など、目標をもって健康づくりや体力向上に取り組むことができる活動を検討していきます。また、健康や安全を意識した行動や、生活習慣を身に付けるための具体策についても検討してまいります。
- ・「【(学年+1)×10分間】、家庭での学習に進んで取り組むことができる」が、保護者で低い評価となりました。家庭学習のあり方を見直し、内容を改善したり、家庭との連携を強化したりしていきます。

<保護者自由記述>

◆「本校の子供たちの様子や教育活動における成果や課題」は、集約したところ、主として以下のような御意見がありました。

- | | |
|----------------|-----------------|
| ○ 登下校や挨拶に関すること | ○ 学習活動や授業に関すること |
| ○ 情報の発信に関すること | ○ 学校行事に関すること |
| ○ 生活指導に関すること | |

子供たちの教育活動が目標に沿ったものになるよう、いただいた御意見を取り入れながら、一番良い形で活動を行っていきます。

◎ 令和7年度に向けて

- ◎ 学校経営目標「温かい学校風土の醸成と発達支援教育を核とした学校経営の推進」のもと、すべての教育活動の土台となる「温かな人間関係づくり」や「互いに認め合う学級・学年づくり」を進めていきます。
- ◎ 本校児童は、「目標に向かって主体的に取り組む」ことに課題があると考え、引き続き「かわりの中で自他の成長、よさを実感できる子の育成」を重点方針とします。「子供たちの自己肯定感・自己有用感を高め、どの子にも居場所のある学校」となるような教育活動を行っていきます。また、目標をもって運動に取り組む活動の場を設定し、児童の体力向上や健康づくりを進めます。
- ◎ 学校・家庭の連携・協力関係を一層深め、児童の望ましい成長を支えます。特に、いじめ対応や家庭学習等における共通理解を図り、よりよい生活習慣や学習習慣の定着を促します。また、地域の人材や事物など学校外の教育資源を活用しながら、本物に触れる体験活動を充実させるとともに、地域への愛着や親しみを育てていきます。

＜学校評価に基づく R7 教育活動の改善策＞

○いじめ対策に力を入れます。

- ・年間5回のいじめアンケートを行い、その結果に基づいて子供相談を行います。いじめとみられる事案については内容を把握し、いじめの加害者、被害者とも複数の教員で話を聞きます。状況を把握し、必要な指導を行うとともに、学校体制で情報を共有します。
- ・ホームページに本校の「いじめ防止基本方針」を載せ、保護者、地域にも学校の方針を伝えます。また、教育相談で保護者に伝えたり、学校運営協議会で伝えたりすることで保護者、地域に理解していただきます。
- ・いじめの未然防止に力を入れます。学校の教育活動全てが生徒指導につながるという考えのもと、学校体制で教育活動を行います。また、問題があったら学校や教員に伝えられるような環境づくりを心掛けるとともに、子供が楽しく通っているかということを保護者にも確認していただくよう投げかけます。

○給食のない日の下校時刻を早めるため、短縮4時間日課から普通3時間日課へと変更します。

○家庭、地域との連携を強化するため、6月11日から13日の3日間、2時間目から4時間目まで学校を公開とします。

○教育活動充実のため、PTA や学校支援コーディネーターとの連携を図ります。運動会や音楽会等の学校行事の際のボランティアを依頼したいと考えています。